

後継者と情報を考える会

1. はじめに

地域にはそれぞれの素晴らしい特徴があります。神奈川区の反町第一町内会と旭区白根町内会の全く環境の違う地域で、ホームページという情報伝達が町内会で共有されていることに注目しました。その活動の状況を地域の方のご協力を頂き、平成28年度の横浜市の自治会町内会長地区連合町内会約3,100団体のアンケートの結果に出た「担い手に若い人が少ないという状況」と比較しました。この両町内会の皆さまはその一番難しい若い世代に視線を合わせて活動しております。この両町内会の皆さまの将来に向けた活動に期待が強くなりました。

2. 神奈川区と旭区の人口動態について

両区と反町第一町内会、白根町内会の人口動態を分析すると次の様になります。高齢化は旭区の方が顕著な傾向にあり、神奈川区は若い人が増える傾向にあります。

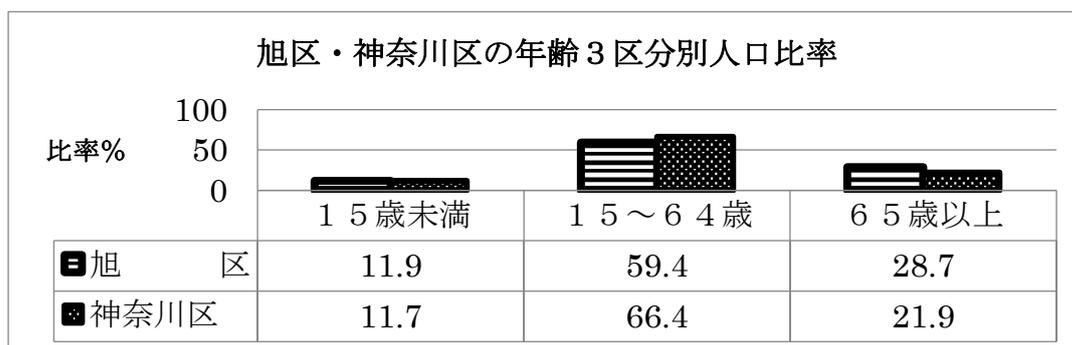
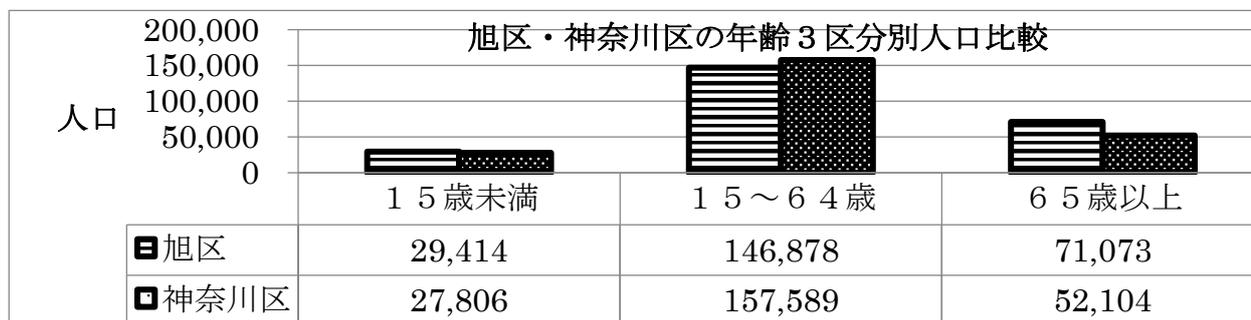
* 両区の年齢3区分別人口の状況について

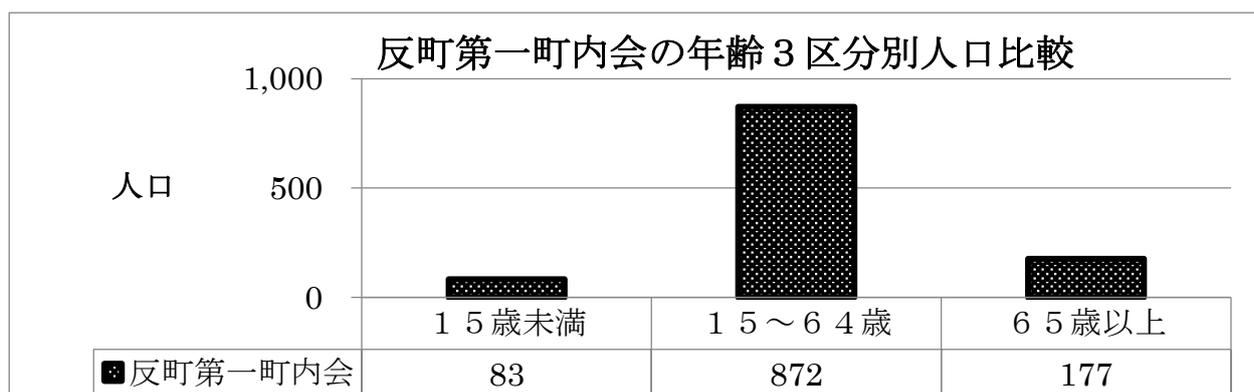
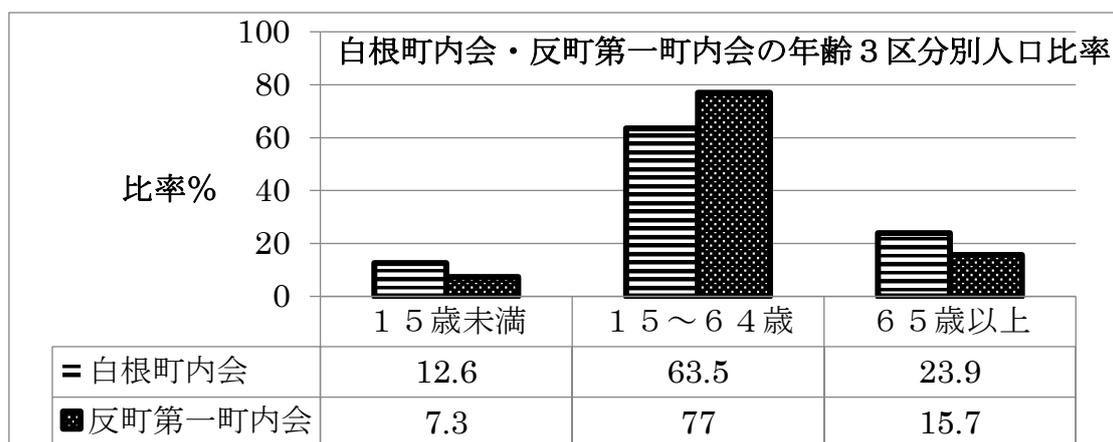
(平成30年3月31日現在の横浜市統計データによる)

	15歳未満	比率%	15~64歳	比率%	65歳以上	比率%	合計
旭区	29,414	11.9	146,878	59.4	71,073	28.7	247,365
神奈川区	27,806	11.7	157,589	66.4	52,104	21.9	237,499

* 両町内会の年齢3区分別人口比率比較の状況について

	15歳未満	比率%	15~64歳	比率%	65歳以上	比率%	合計
白根町内会	1,683	12.6	8,519	63.5	3,207	23.9	13,409
反町第一町内会	83	7.3	872	81.3	177	12.2	1,132





3. 横浜市の自治会町内会・地区連合町内会アンケートについて

後継者問題や情報に関係ある所を抜粋すると次の通りです。

①自治会町内会長の年齢構成について

年齢	回答人数	比率%	年齢	回答人数	比率%	年齢	回答人数	比率%
20歳代	8	0.3	50歳代	256	10.1	80歳代	209	8.3
30歳代	41	1.6	60歳代	867	34.3	90歳代	6	0.2
40歳代	154	6.1	70歳代	980	38.7	無回答	9	0.4

②自治会町内会長の在職年数について

年数	人数	比率%	年数	人数	比率%
1年以下	958	37.9	11～20年	246	9.7
2～3年	439	17.4	21～30年	59	2.3
4～5年	316	12.5	31年以上	23	0.9
6～10年	436	17.2			

③自治会町内会への加入の取組について

加入の仕方のやり方

(ア)積極的に呼びかける・・・1,264名(57.6%)

(イ)呼びかける努力をする・・・586名(23.2%)

加入を断られる主な理由

(ア)役員、班長になりたくない・・・50.9%

(イ)忙しいから・・・44.4%

(ウ)人付き合いが面倒・・・34.5%

(エ)加入のメリットがないから・・・31.7%

④運営上の課題

(ア)役員の成り手が少ない・・・80.7%

(イ)会員の高齢化・・・64.7%

(ウ)特定の会員しか運営行事に関わらない・・・37.8%

(エ)行政からの依頼事項が多い・・・32.7%

(オ)行事への参加者が少ない・・・22.8%

(カ)未加入世帯の増加・・・18.3%

⑤役員のなり手を増やす工夫

(ア)呼びかけの工夫

P T A、子ども会、ロコミ、行事による勧誘など・・・616件

(イ)役員の決め方の工夫

輪番制、当番制、抽選制、推薦制、任期限定制・・・375件

⑥運営・魅力の工夫

マニュアル作成、業務の分担、役員数の削減、行事の削減、報酬制度、サポート体制づくり・・・267件

⑦行事への参加を増やす工夫

(ア)広報の工夫

ポスター掲示、回覧板、HPでの告知、ロコミ・・・690件

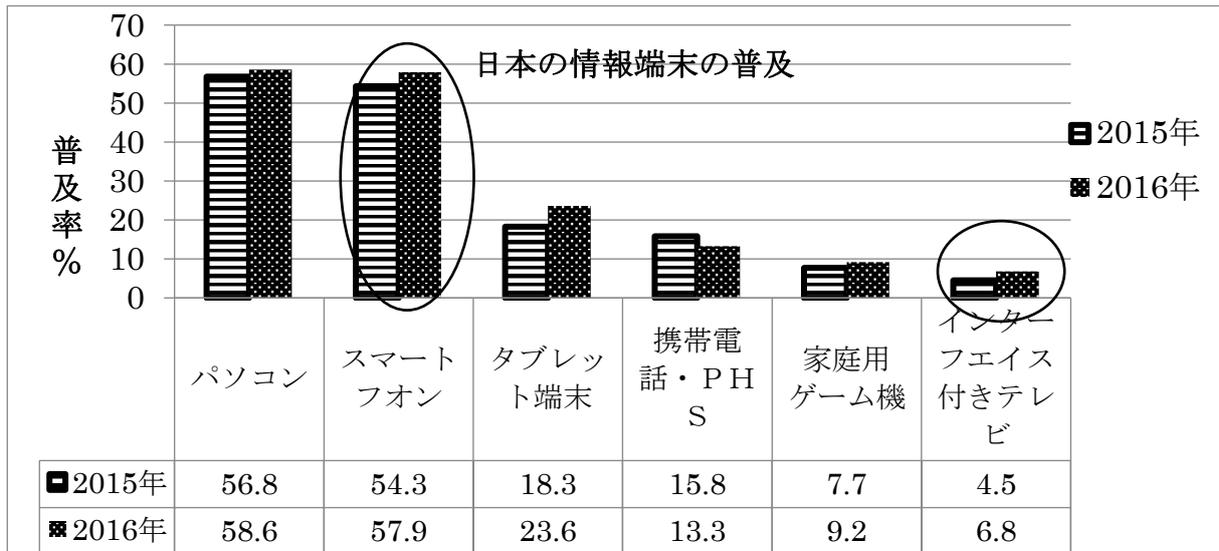
(イ)行事内容の工夫・・・411件

(ウ)団体との連携の工夫・・・112件

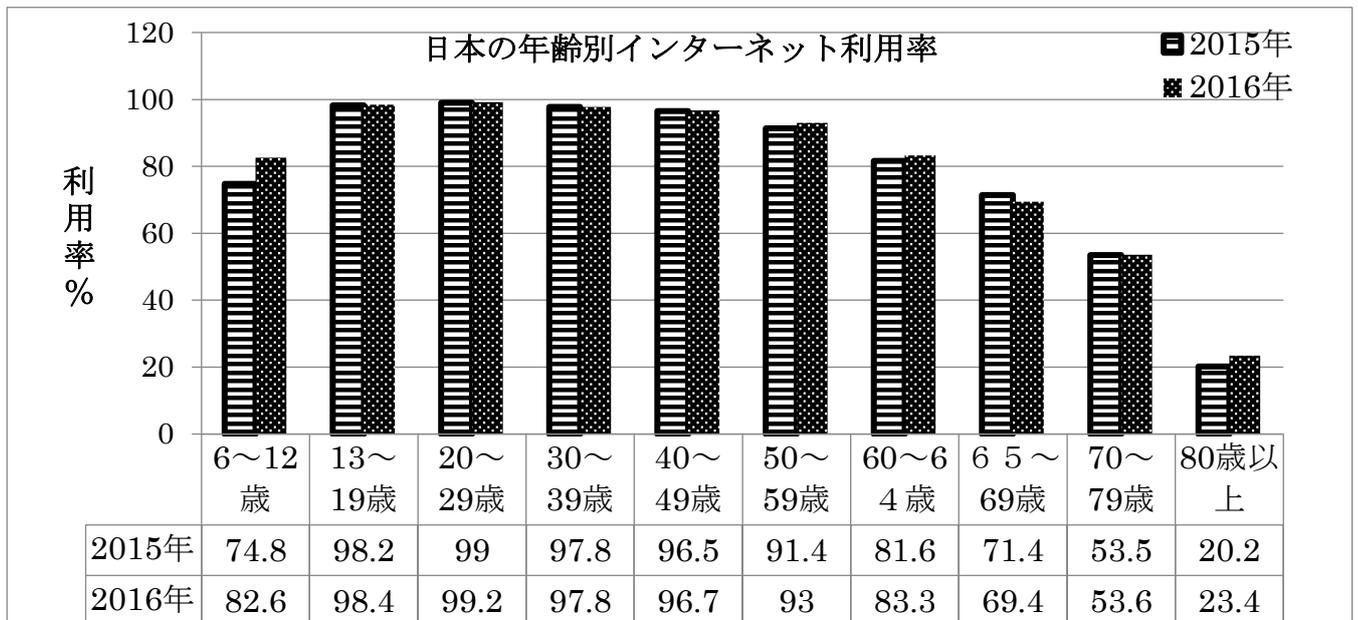
(エ)その他の工夫

(自治会町内会のアンケートの実施、役員の強制参加)・・・68件

4. 日本の情報端末の普及について（総務省：平成 29 年度情報通信白書）



5. 年齢層別の情報端末の導入傾向について（総務省：平成 29 年度情報通信白書）



6. 反町第一町内会と白根町内会の活動状況分析について

平成 28 年度の横浜市の自治会町内会長・地区連合町内会のアンケートの問題点の代表的項目に対応させて両町内会における実行項目を比較分析しました。

対応する内容	反町第一町内会	白根町内会
役員などを増やす工夫	<ul style="list-style-type: none"> * 会長、会計は原則立候補制 * 立候補なし⇒選考委員会で推薦候補を決める * その他人事⇒会長の選任事項 	<ul style="list-style-type: none"> * 選挙役員会を常時設置（会長、副会長は除外） 委員長は委員の互選による
運営の工夫	<ul style="list-style-type: none"> * 会議時間は 1 時間 * 参加しやすい時間帯、休日などの話 	<ul style="list-style-type: none"> * 諸会議は 2 時間以内とする * 資料の事前配布

	し合い ＊地域の夢を語り合う雰囲気作りや食事会など ＊気軽な連携、パトロール、広報活動など ＊高齢者からの支援（広報活動、寄付活動、学童見守りなど）	＊地域の支え合いを語り合う雰囲気作り ・鶴ヶ峰駅の地下化（2034年竣工予定）に伴い、観光資源として伝統ある地域の貴重な歴史の発掘、記録化 ・老人使用設備（福寿荘）、プール、地区センターの利用・活用推進・充実 ・経験豊富なOB、ベテランによる防犯パトロール活動、青パトによる見まわり
広報の工夫	＊ホームページのアップに若手協力者の参加が実現(女性の会計担当) ＊ホームページでも告知化 ＊会報も配布 ＊高齢者からもホームページを認知され、見守り、寄付活動資料配布などの協力体制が構築されつつある	＊ホームページのアップロードに若手プロパー協力者の参加実現(40歳代男性2名) ＊ホームページをスマホで閲覧奨励 ＊ごみ出しの際の注意事項を未加入世帯へも配布 ＊ホームページへの商店・企業の賛助会員の募集（有料で広告掲載）

7. おわりに

今後ますます高齢化が進む反面、情報伝達やその情報を個人の感覚に合う方向へと進み、ますます、若い人が地域とのかかわりから遠くなる恐れがあると推測されます。一方、現在は小学校からパソコンや携帯端末での教育が導入されております。横浜市でのアンケートでは多くの自治会町内会がホームページによる各種会合への告知、魅力あるサポート制度の導入など若い人に目を向けています。

今回研修をさせて頂きました両町内会の取り組む姿勢が、若い世代に対する道しるべになると感じました。

終わりに、貴重な町内会の活動状況等の情報提供と共に丁寧なご指導頂きましたこと部会員一同感謝申し上げます。